



特定非営利活動法人ほっとポット

2018年度 特定非営利活動報告に係る 事業報告

2018年4月1日～2019年3月31日



1 事業報告

【無料低額相談事業】

○年間相談総数 353 件/年（前年比－11 件）

生活上の様々な困りごとへの福祉相談に社会福祉士等が応じる事業(社会福祉法 2-3-1 届出)。社会福祉士及び介護福祉士法(2-1)に定義されている業として、社会福祉制度等の助言、関係機関への調整支援等を実施している。なお、経済的に困窮している方の費用負担は無料としている。

※実績に地域生活サポートホーム、緊急一時シェルター事業は含まない



【緊急一時シェルター事業】

○施設数 2か所

○居室数 8居室

○支援依頼数 43人/年

○入所支援者数 17人/年

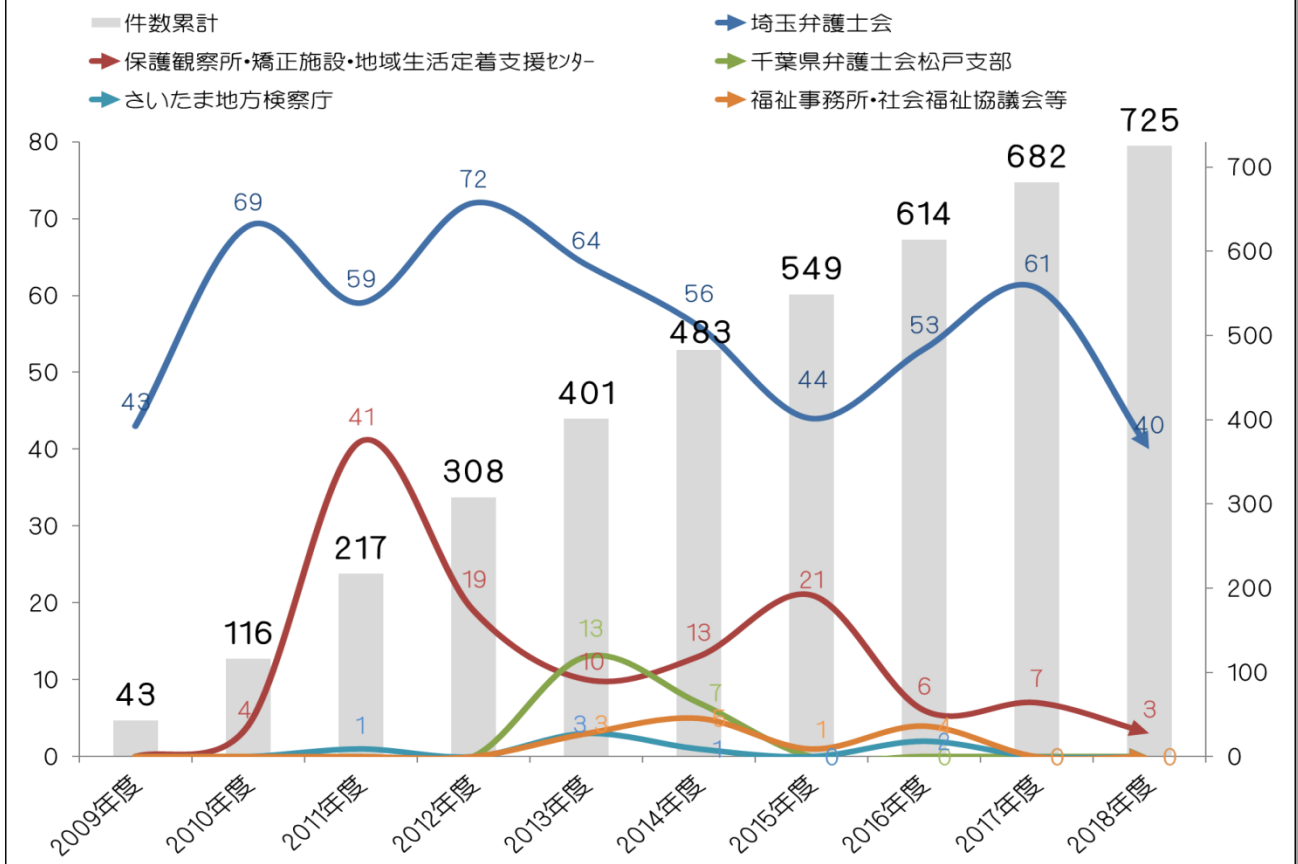
主に貧困を背景として罪を犯した住居喪失状態の方へ、被疑者・被告人段階から社会福祉士を身柄拘束場所へ派遣し、生活相談に応じ、福祉制度への調整支援を行った。また最大30日間の居室支援を行い、退所後の安定した居宅確保支援も行った。

埼玉弁護士会による社会復帰支援委託援助制度：指定施設を運営。併せて、法務省による緊急的住居確保・自立支援対策事業：自立準備ホームを運営。保護観察所・地域生活定着支援センター・矯正施設等からの支援依頼へも対応した。

2009年度から始まった緊急一時シェルター事業は、2018年度で支援依頼総数725人となった。本事業について、講演依頼や取材依頼などが寄せられている。

なお、2012年度から当法人代表理事がさいたま岩槻地区において保護司を法務大臣より委嘱されている。また地域貢献の一環として事務所1室を「更生保護サポートセンター」として無償で週に2回、2018年12月からさいたま岩槻地区保護司会：企画調整保護司にご活用頂いている。また、代表理事が企画調整保護司の1人として指名を受け同更生保護サポートセンター長になった。

グラフ1 緊急一時シェルター機関別支援依頼件数(総数725名)

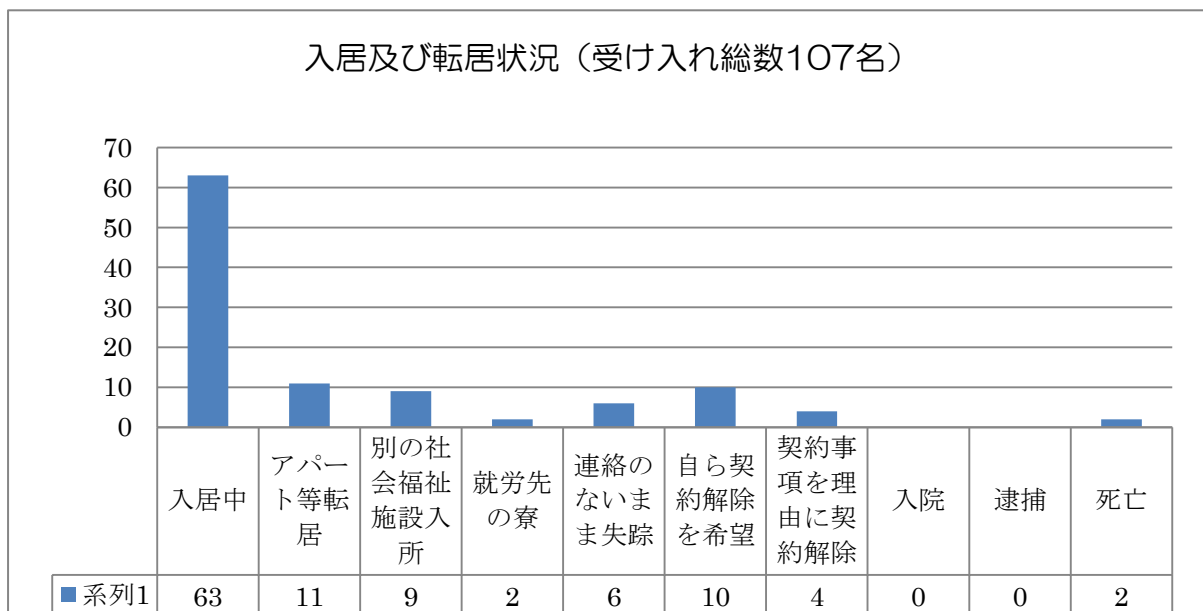
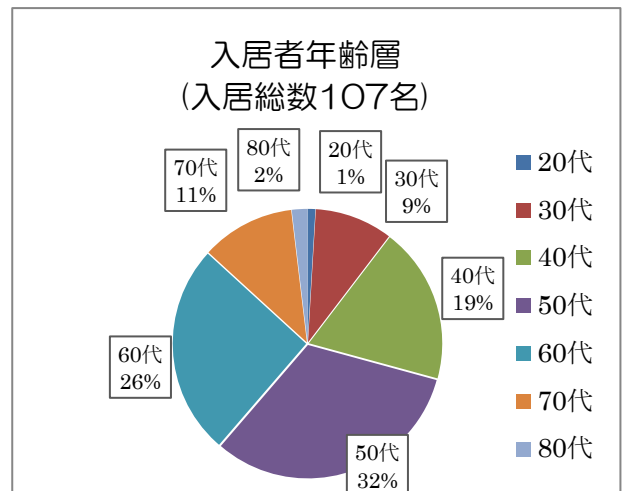


【地域生活サポートホーム事業】

- 施設数 16か所
- 居室数 69居室
- 岩槻区 6か所
- 岩槻区 33居室
- 見沼区 6か所
- 見沼区 22居室
- 緑区 3か所
- 緑区 14居室
- 利用者総数 107人/年
- 住居等への転居数 22人/年

貧困を主な背景として、住居喪失状態にある方、又はその恐れのある方を対象に、一時的な居住場所の提供を行う事業。社会福祉士等による入居者への巡回訪問を通じて、福祉制度・サービスの連絡調整支援や、支援計画をもとに1人1人の目標や生活課題に合わせた支援を提供し、アパート転居等の安定した住まいへの転居に向けて支援を行っている。契約期間は最長1年間（更新可）。

厚生労働省社会・援護局保護課が主催する「社会福祉住居施設及び生活保護受給者の日常生活支援のあり方に関する検討会」に当法人代表理事宮澤が構成員として参加。



【障害福祉サービス事業】

- 施設数 5か所
- 居室数 14居室
- 年間利用者数 14人/年

障害者総合支援法に基づく共同生活援助を行う事業。さいたま市内にグループホームを運営。入居者の相談や日常生活上の援助を行う。

障害種別は、療育手帳保持者12名・精神障害者保健福祉手帳保持者3名・身体障害者手帳保持者1名（重複あり）。年齢は10代～50代の男性が入所している。

今年度末時点での日中活動先は、他法人の就労継続B型事業所や精神科デイケア等である。尚、5名は一般就労をしている。

年間行事として、自治会のイベント参加、BBSの行事への参加（芋ほり）、地域のお祭り参加



(やまぶき祭り・岩槻祭り・ぼとふ祭り・どうかん祭り)、浦和美園イオン等への買い物レク、年末大宮市場巡り、忘年会・新年会等の食事会レク、野球観戦等を行った。また年2回の避難訓練を実施した。2017年度からお茶楽と健康料理サポートを実施した。



【人づくり事業】

- 実習生受け入れ 11人/年
- 依頼大学数 7大学/年
- 研究（研究論文等）受け入れ 2人/年

社会福祉士(国家資格)の実習養成施設として社会福祉士を目指す学生の実習生受け入れを行った。職場において、社会福祉士実習者講習会を修了した職員を3人配置した。

○講演啓発・講師派遣・論文等寄稿の主な実績

- ・東洋大学 ライフデザイン学部 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 講師
- ・目白大学 人間学部人間福祉学科 相談援助実習Ⅰ 講師
- ・横浜社会福祉研究会 登壇
- ・埼玉弁護士会熊谷支部 勉強会講師
- ・法務省 矯正研修 任用研修課程高等科第50回研修 社会福祉と矯正 講師
- ・社会福祉住居施設及び生活保護受給者の日常生活支援の在り方に関する検討会
- ・日本社会事業大学ホームページ「福祉のみかた」
- ・6月8日朝日新聞朝刊 耕論「働かざるもの・・・？」インタビュー記事
- ・「さいたま市における無料低額宿泊所等に関するガイドライン改正について」「さいたま市における日常生活支援住居施設に関する条例（仮）について」の要望書をさいたま市長宛に提出
他



○当法人への視察者等（順不同）

- ・厚生労働省社会、援護局保護課、地域福祉課、総務課の皆様
- ・厚生労働省社会、援護局 保護課長、保護事業室室長補佐様
- ・総務省行政評価局 評価監視官の皆様
- ・さいたま保護観察所の皆様
- ・東京都北区社会福祉士会の皆様
- ・東京更生保護施設連盟 青年部会の皆様
- ・首都大学東京人文社会学部 教授 岡部卓様
- ・医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院看護師の皆様
- ・中京大学現代社会学部 教授 辻井正次とヒアリング調査チームの皆様



- ・社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会福祉人材センターのセンター長と職員皆様
- ・NPO法人自立支援センターふるさとの会の皆様
- ・聖学院大学の学生様
- ・日本社会事業大学学生様 他

○ボランティア受け入れ 12名/年

主に食事会（ほっとサロン）の当日スタッフやハガキ部の活動補助としてボランティアを受け入れている。調理や、気軽なお話し相手として一地域の皆様や学生等を受け入れた。

○法人内研修

- ・埼玉県地域生活生活支援センター研修

○法人外部研修等

- ・社会福祉士基礎研修 I
- ・平成30年度新任職員研修会
- ・地域福祉活動推進者研修
- ・感染症基礎研修
- ・接遇研修
- ・次世代リーダー養成研修
- ・実習指導者フォローアップ研修
- ・施設長及び幹部職員研修
- ・虐待防止研修
- ・平成30年度社会福祉法人監査研修
- ・顔の見えるネットワーク会議
- ・意思決定支援を踏まえた成年後見人等の事務及び中核機関の役割に関する全国学習会 等



【ほっとサロン事業】

○参加者数 235名/年

単身生活をされている方の居場所づくりや交流の機会の確保を目的に、月に一度食事会を開催している。主に当法人の支援を利用したことのある方を対象としているが、学生や他団体、地域住民の方々からボランティアを募り、「ほっとポットの活動を知ってもらう入口」としても機能。

食事会では栄養バランスや季節に応じた献立メニューを職員や実習生が提案し、参加者と一緒に調理をすることで、生活訓練の機会を提供。また、気軽に日ごろの相談事を寄せられる場ともなっている。

○ほっとサロンメニュー

- 4月 タケノコご飯・焼きシュウマイ・肉じゃが・野菜たっぷり味噌汁
- 5月 豆腐ハンバーグ・冷や汁・しゃぶしゃぶサラダ・手作り胡麻ドレッシング・わかめご飯
- 6月 夏野菜スープ・チーズもやし春巻き・とり五目ご飯・白菜のおひたし

- 7月 流しそうめん・棒棒鶏・無限ピーマン・トマトサラダ
- 8月 山田家特製鶏肉のみぞれ煮・とろろときゅうりのしらす和え・トウモロコシご飯・わかめと春雨の中華スープ・わらびもち
- 9月 ホワイトシチュー・ピーマンの肉詰め・春雨サラダ・レンコンのきんぴら・かぼちゃプリン・白米
- 10月 鳥ごぼうの炊き込みご飯・ゴマドレサラダ・ミネストローネ・チキン南蛮・タマゴタルタルソース掛け・さつまいも蒸しパン・白米
- 11月 二種のピラフ（カレー、チキン）・けんちん汁・秋餃子・柿のパウンドケーキ
- 12月 ビーフシチュー・オムライス・オニオンスープ・ブッシュドノエル
- 1月 恵方巻・ちくわの磯辺揚げ・マカロニサラダ・鶏肉のお雑煮・大学芋
- 2月 古代米ごはん・コロケ・特製季節のサラダ・クラムチャウダー・スイートポテト
- 3月 カレーライス・唐揚げ・ポテトサラダ・お菓子



【成年後見事業】

○受任件数 7件/年（新規受任2件、受任終了0件、継続5件）

受任総数 8件（2007年～2018年まで）

種別		新規受任	受任終了	継続件数	内訳
法定後見	成年後見人	1件	0件	2件	80代 女性 60代 女性 30代 男性
	保佐人	1件	0件	2件	70代 男性 70代 男性 30代 男性
	補助人	0件	0件	1件	70代 男性

【地域生活見守り事業】

○支援契約件数 1人/年

地域の一般アパートにて生活している方から福祉的な相談に応じる事業。アパートのオーナーか

らの相談にも応じ、既に入居契約している方についても福祉的な関わりが必要と認められる場合、関係機関への連絡調整等の支援を行う。

契約はアパートを所有するオーナーと取り交わし、毎月入居者数に応じて支援料を受領している。

【就労支援事業】

主に就労をする前段階の体力づくり、就労のきっかけづくりを目標にしている。

○農園部

活動場所 事務所の庭 活動日 適宜

活動内容 今年度は夏にゴーヤやミニトマトを育て、ゴーヤチャンプルーを作る事ができた。ミニトマトも実際に収穫して、サロンの流しそうめん時に提供。冬にはブロッコリーを育て、1月末頃収穫しサラダを作ることができた。他にもパクチーを育てたが、失敗。参加者と一緒に対策を考えていきたい。

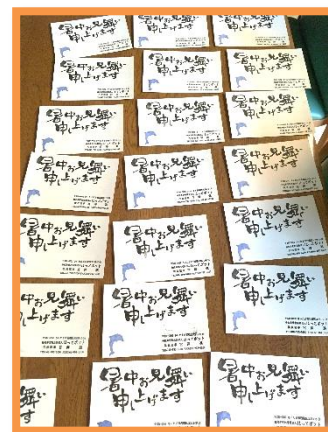
○ハガキ部

活動場所 事務所談話室

活動日 月1回程度

参加者 55名/年（利用者47名、実習生8名）

活動内容 会員の皆様への御礼等や、入居者の誕生日カードに使用するハガキを作成した。近隣住民等からの寄付を募った。活動日以外でも参加者から希望があれば、牛乳パックを細かく切る作業等を事務所内で随時活動してもらった。ハガキづくりの他に暑中見舞いの消しゴムハンコ作成、年賀状のイラストづくり、会報誌発送作業等をハガキ部の活動として行った。



○登山部

今年度は実施せず。

2 その他報告事項

【会員数】

○正会員 187人

○賛助会員 66人

※2019年3月31日時点